# 選べるコース制で進学も就職も万全のサポート体制

## ＜令和元年度大学合格実績＞

国公立大学
名古屋大学　新潟大学　東京電気通信大学
福島大学　富山大学　長野大学　都留文科大学
私立大学
青山学院大学　法政大学　立教大学　中央大学
工学院大学　関東学院大学　帝京大学　城西大学
立正大学　大東文化大学　神奈川大学　秀明大学
金沢学院大学　金沢医科大学　大阪経済大学
新潟医療福祉大学　神奈川工科大学　千葉工業大学
新潟薬科大学　新潟青陵大学　石巻専修大学　など

## ＜令和元年度就職実績＞

警視庁　海上自衛隊　陸上自衛隊　JR貨物
エスビーガーリック食品株式会社　日本郵便株式会社
えちご上越農協協同組合　日本曹達株式会社
株式会社ポラテクノ　株式会社アルボン
フジパン株式会社　株式会社コメリ
株式会社ナルス　株式会社新井コロナ
山崎製パン株式会社　信越化学工業株式会社
株式会社里見　信越丸大食品株式会社
太陽誘電株式会社　太平洋特殊鋳造株式会社
直江津産業株式会社　田辺工業株式会社
直江津電子工業株式会社　など

# 勉強も部活も行事も一生懸命が楽しい!!

上越高校では毎年校内全校プレゼンテーション大会を行っています。(写真①②) この大会を通じて「プレゼンテーションって楽しい!」と感じた生徒たちが県のプレゼンテーション大会に挑戦し、みごと最優秀賞(県1位)を受賞しました。(写真③④) 一生懸命頑張って、「楽しい!」と感じた経験は、次の「楽しい!」につながります。

上越高校は、勉強も部活も行事も一生懸命頑張る生徒を応援します。一生懸命頑張る機会も大切にしています。一生懸命が生み出す「楽しい!」が沢山ある高校生活は、一生の宝物になりますよ!!

写真①

写真②

写真③

写真④

体育祭・学園祭だけじゃなく、
ゆかた祭り・スプフェスといった
生徒の発案した行事も盛り沢山!
詳しくは上越高校ホームページを
チェックしてね!

今回は
「高校生活が思ってたのと違う!」
と言って卒業していった2人を
紹介します

上越高校で過ごした3年間は、あっという間だった。それは、想像していた高校生活とずいぶん違ったからかもしれない。

想像以上の日々や、想定外の出来事が、新しい自分を発見してくれた。ありがとう、上越高校。

＜イラスト担当＞3年 R.N


# 上越高校NAVI

発行：上越高等学校
令和２年8月24日



〒943-0892 上越市寺町３－４－３４　TEL:025-523-2601　MAIL：joetu-hs@jorne.or.jp

Case1
宮下海勇
令和２年３月卒業
柿崎中学校出身
名古屋大学進学

中途半端は嫌だった
道を絞ることに
不安もあったけど
言い訳出来ない状況に
することで
頑張れる気がした

**「サッカーをやりたくて上越高校に入学」**

中学校の先生からは公立の進学校を勧められましたが、勉強よりもサッカーがしたいと考えて上越高校を選びました。監督が元プロのサッカー選手で、人工芝のグラウンドで練習できることが魅力的でした。

**「1年でサッカー部を退部」**

サッカーがやりたくて入った上越高校でしたが、勉強を頑張りたいという気持ちが強くなり、部活を辞めて勉強に専念したいと先生に伝えました。顧問の先生はきちんと私の話を聞いてくれて、「勉強を頑張るという自分の言葉に責任を持って、最後までやりぬけよ」と激励してくれました。先生の言葉は自分の心の中にずっとあって、苦しい時はこの言葉を思い出していました。

**「日本屈指の名門校、名古屋大学に合格」**

私は自分にあった勉強法を模索することに力を入れました。例えば英語は１日５つ長文を読むことで、よく出る構文や知らない単語を覚えるという勉強法で成績が伸びました。このやり方が全員に合うとは思いませんが、自分に合った勉強法を探る、定期テストや模試で力を試す、結果が出るという良いサイクルを作ることが成績を伸ばす秘訣だと思います。一番大切なのは大学に行きたいという強い気持ちです。自分の気持ちが強ければ、ちゃんと結果に繋がると思います。

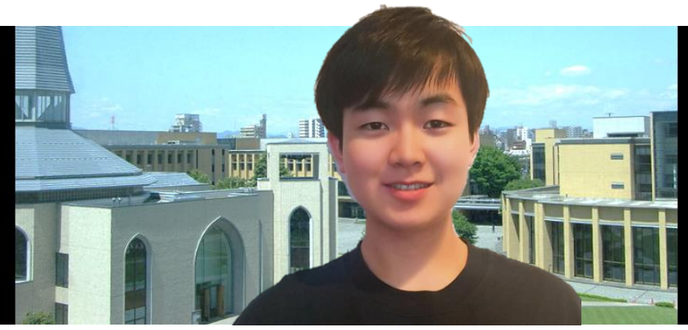
**「目標は変わってもいい」**

サッカーから大学受験に目標が変わりましたが、それを応援してくれる仲間や先生がいてくれたおかげで、楽しい高校生活を送ることができました。３年の後半は、気持ちの焦りから受験勉強が辛いと感じたり、入試結果が出てクラスの雰囲気がピリピリすることもありましたが、そんな時は先生がドッジボール大会をしたり、調理実習をしたりと、気分転換する機会を作ってくれました。最後まで勉強を頑張ることが出来たのも、先生やクラスメイトのおかげだと感謝しています。

勉強の様子

涙・涙の卒業式

Case2
宮澤崇紘
令和２年３月卒業
上教大附属中学校出身
青山学院大学進学



目の前に落ちている
石を拾っていたら
いつの間にか
こんなところまで
来ていた
そんな感じです

**「新しい環境で頑張りたい」**

小学・中学とほぼ同じメンバーだったので、新たな環境で頑張りたいと思って上越高校を選びました。グローバル特進に入りましたが、入学当時は授業についていくのに必死だったことを覚えています。

**「仲間の存在が大きかった」**

高校１年の時に高校卒業後に進学するか就職するか悩んでいました。でも、先生との面談で、成績が伸びずに苦しくて、受験勉強から逃げて楽になりたいと思っていることを指摘されて、自分で自分の限界を作っていたことに気が付きました。それに、クラスの団結も強くなってきて、みんなとなら頑張れるのではないかとも感じました。グローバル特進コースでの勉強は大変でしたが、文武両道を目指して頑張っている仲間や、難関大学進学を目指して寝る間を惜しんで勉強する仲間に沢山刺激を受けました。自分ももっと頑張れるはず！と自分の力を信じて、３年間コツコツと勉強を続けられたのは、クラスの仲間のおかげだと思っています。

**「弁論で日本一になるなんて思ってもみなかった」**

高校に入ると、先生からコンテストへの出場や新聞への投稿、生徒会役員の立候補など、色々なことに挑戦しようと提案されました。それらに必死に取り組むと、コンテストで受賞したり、投稿文が新聞掲載されたり、生徒会長になれたりと、ちゃんと結果に繋がりました。それが楽しくてどんどん新しいことに挑戦しました。

高校に入学するときは、自分が生徒会長になることも考えていなかったし、ましてや弁論大会で日本一になるとも思ってもみませんでした。明確な目標があったわけではないけれど、目の前の与えられたことに全力で取り組んでいたら、いつの間にかすごい結果に繋がって驚きました。

**「地域コミュニティについて学びたいと思って選んだ青山学院大学」**

私は、学力で大学を選ぶのはもったいないと考えています。 大学はやりたいことが出来る場所です。行ける大学ではなく、自分がやりたいことが出来る大学に行くべきだと思います。そのためにも高校では、学力だけでなく何を学びたいかを考えることが大切だと思います。そして、それに気づけたのは上越高校での３年間があったからだと感謝しています。

ゆかた祭りの様子

弁論全国大会で優勝